

課題名

温州みかん結実管理と生産安定について -着花予測-

成果の要約

次年の花葉比(花数/旧葉数)は前年の果葉比との相関が高く、着花予想に利用できそうである。

成

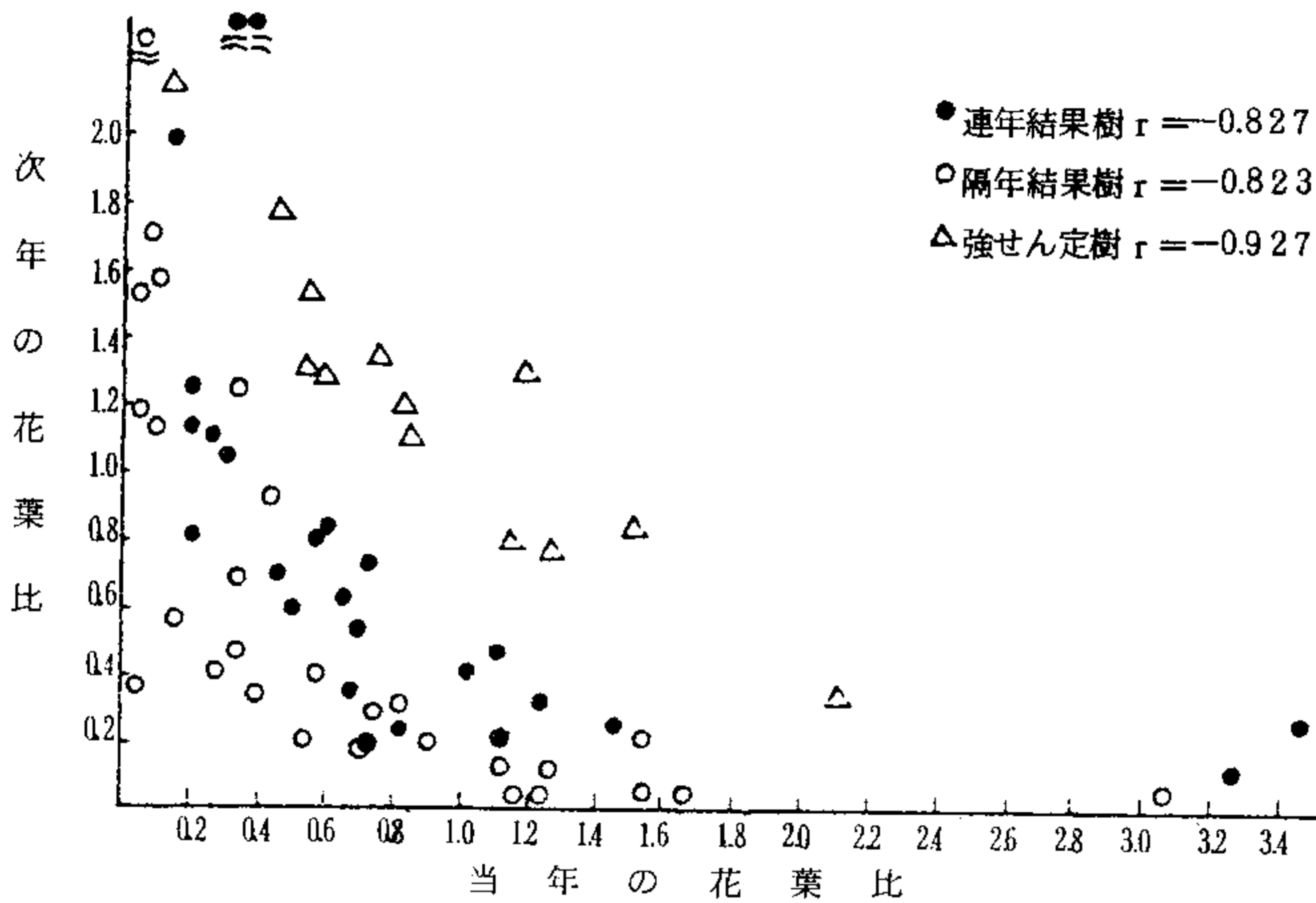
花葉比別の葉果比と次年の花葉比は次のとおりである。

1. 花葉比 0.5 以下では、葉果比にかかわらず次年の花葉比はかなり高い。
2. 花葉比 0.5 ~ 0.8 では、葉果比による次年度花葉比の変動は比較的小さい。
3. 花葉比 0.8 ~ 1.0 では、葉果比 30 以下で次年花葉比はやや小さい。
4. 花葉比 1.0 ~ 1.3 では、葉果比 31 ~ 35 でも次年花葉比はやや小さい。
5. 品質面も考慮すると花葉比 0.8 前後で、葉果比 30 以上の摘果が望ましい。

績

第1図 当年の花葉比と次年の花葉比の関係

概



要

第1表 当年花葉比別葉果比と次年の花葉比

当年の花葉比	葉果比			
	16~20	21~25	26~30	31~35
0.3 ~ 0.5	1.17	1.29	0.64	0.89
0.5 ~ 0.6	0.63	0.58	0.54	0.75
0.6 ~ 0.8	0.59	0.68	0.62	0.74
0.8 ~ 1.0	0.21	0.66	0.62	0.90
1.0 ~ 1.3	0.23	0.56	0.55	0.54

成

績

第2表 着花程度別の摘果指標

着花程度	花 / 旧葉	旧葉 / 新葉	花 / 新梢	当年の果実		次年の着花
				花大	品質	
過多	1.2	2.5	6.8	△	○	少
多	0.9	2.1	5.0	○	◎	少~中
中	0.7	1.5	4.0	◎	○	中
少	0.6	1.8	3.5	◎	△	多
過少	0.4	1.4	3.0	△	△	過多
備考	樹令 23 年生 実測値			◎最良 ○良 △不良		

概

要

枝別摘果	摘果			方法			最終葉果比
	全面摘果	摘蕾摘果	荒摘果	仕上げ摘果	樹上選果		
◎	×	○	◎	◎	◎	35~40	
◎	○	×	◎	◎	○	30~35	
×	◎	×	○	◎	○	25~30	
○	×	×	△	◎	○	25*	
○	×	×	△	○	○	25*	
◎最適 ○適 ×不適 ◎重要 ○必要 △不必要 *希望葉果比							

普及上の留意点

着果程度によって最終葉果比を変える必要があるが、最終葉果比に至るまでの摘果時期及び時期別摘果程度は着花程度で変える必要がある。